

きほくのまち人探訪

「音楽を取り入れた読み聞かせて絵本の魅力を伝える」



はまぐち
濱口 ゆかさん

町内の施設やイベントで絵本の読み聞かせを行っている濱口ゆかさん。音楽を取り入れた濱口さんの読み聞かせは、言葉の分からない小さな子どもたちからも大人気です。

音楽をつけた読み聞かせを始めたのは、濱口さんのお子さんがきっかけでした。絵本を読むだけでは言葉の理解がなかなか進まなかったところ、音楽を取り入れたことで、自然と反応し、話の理解力が高まりました。そして、平成24年2月に行われた中央公民館図書室のオープニングセレモニーで、地域の子どもの前で絵本の読み聞か

せを初披露。子どもそして、保護者からも好評で、現在はゆめぼけなどでも絵本の読み聞かせを行っています。

また、濱口さんは、6年ほど前から絵本のオリジナルストーリーを10作品以上作っています。紙芝居コンテストや雑誌などで入賞した作品もあり、鬼北町の鬼の絵本「あぶないおつかい」のストーリーも担当しました。

濱口さんは、「これからも絵本の良さを伝えるとともに、絵本を通して子どもたちがより良い方向に成長できるように活動が続けて行きたい」と、笑顔で話していました。

ALTの鬼の里Diary ~Chrisdelle編~

「My favorite healthy sweets」



先日、チョコチップクッキーを作りました。クッキーの外側はサクサク、内側は歯ごたえがあり、とても美味しかったです。しかし、たくさんの砂糖やバターが使われていることが気になりました。クッキーやクロワッサンなど砂糖やバターがたくさん使われている食べ物は美味しいですが、食べ過ぎには注意が必要です。

私は、素材そのものが持つおいしさも大切にしたいです。今年の秋に初めて日本のサツマイモを焼き、サツマイモの自然な甘さがとても気に入りました。

私の好きなスイーツはバナナです。私の家族はフィリピン出身なので、家にはいつもバナナがありました。バナナはさまざまな栄養素をバランス良く含んでいます。私は、カットして冷凍したバナナを、少量の植物性のミルクとブレンドしてアイスクリームを作るのが好きです。また、マッシュバナナ2個、オートミール1.5カップ、ミニチョコレートチップを使ってクッキーを作ることでもあります。これらの健康的なスイーツに興味がある方はぜひお試しください。

地域おこし協力隊活動日記

「協力隊の任期の折り返し地点を迎えて」

地域おこし協力隊2年目

あわの
栗野 まさおみ
正臣

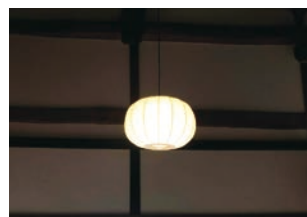


鬼北町の地域おこし協力隊に就任し、約1年半となりました。協力隊の任期は最長3年間なので、折り返し地点というところです。仕事と生活の両面において、新しい体験・発見ばかりだったので、とても濃密で充実した時間を過ごせました。これからも1日1日を有限のものと意識し、大切にしていきたいと思っています。

泉貨紙の活動においては、先月の初めにランプシェードを納品させていただきました。西予市野村町で開業されたゲストハウスの寝室照明に使っていただいております。こちらのゲストハ

ウスは古民家を改装した施設なので、和紙が自然と空間に溶け込んだように感じました。

また、冬季限定の紙漉きも始まりました。同じ動きを何度も繰り返し、体で覚えていく作業が難しい反面、面白いです。この手仕事の魅力が伝えられるよう、これからも務めていきたいと思っています。



▲ゲストハウスに取り付けた泉貨紙のランプシェード